整理番号 0180

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1303 都市計画部都市計画課 所属 事務事業番号 00759 都市景観形成推進事業

所属長名 西村 健 記入者 上田 真由美

F ++		-	+-	•
【基	*	놈	ᄍᅜ	1

【基本情報】										
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画									
基本方針	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り									
基本政策	007 悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します									
施策	018 古都にふさわしい景観づくり									
取組の方向性	001 次代に引き継ぐ景観づくり									
事務事業	001 都市景観形成推進事業									
運営方法	直営									
評価区分	対象	主な取組区分	対象							
根拠法令等	景観法・古都保存法・都市計	·画法(風致地区)	等							
事業概要	(事業概要) 古都大津にふさわしい景観 もに、必要な事項を景観審議 景観を守り育て、次世代に引 高揚を図っている。 令和6年度は、策定から1	会に諮問するこ。  き継ぐことを目的	とにより、良好な景観形成 的とした景観絵画展を開催	に努めている。 し、景観形成の	また、美しい古都大津の 推進に対する市民意識の					
(事業を取りまく社会環境) 市民の景観に対する意識の変化や、景観行政を取り巻く環境が変化していることが、令和3年度に実施したアンケート調査の結果から示されており、今後、美しい景観を次世代につなげていくため、長期的な取組が必要とされている。 環境とこれまでの見直し (見直しや改善等の経過) 近年の社会情勢の変化や景観に対する市民意識等を踏まえ、令和4年度から令和6年度までの3ヵ年をかけて第2次大津市景観計画の策定を行った。										
【事業分析】										

_【事業分析】	
対象(何又は誰を)	本市の美しく風格ある景観を
目的(何のために)	市民共有の財産として守り育て次世代に引き継ぐために
手段(どのようなやり方で)	景観法や古都保存法等の法令に基づく規制・誘導とともに、良好な景観形成に対する市民・事業者の意識啓発を 実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	都市の発展や、歴史・自然と調和したものとする

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	タルコスト	30, 544	25, 762	13, 649	12, 441	12, 441	12, 441	12, 441
틕	<b>事業費</b>	15, 832	13, 184	4, 269	3, 061	3, 061	3, 061	3, 061
	国庫支出金	6, 401	5, 779	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	9, 431	7, 405	4, 269	3, 061	3, 061	3, 061	3, 061
レフ	(件費計	14, 712	12, 578	9, 380	9, 380	9, 380	9, 380	9, 380
	事務・技術(人)	1. 80	1. 51	1. 10	1. 10	1. 10	1. 10	1. 10
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 21	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
4	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0180

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1303 都市計画部都市計画課 事務事業番号 00759 都市景観形成推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-31-00-01-00	都市景観形成推進事業費	都市計画部都市計画課
_		

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)景観計画区域内 行為届出又は事前協議	件	200. 00	200. 00	200. 00	200. 00	200. 00	200.00	200. 00
17 荷畑山スは争削協議 件数	117	163. 00	136. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)市民啓発事業等 の開催数	回	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
07用 住 奴	ш	2. 00	2. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)景観絵画展への 作品出展数	点	700. 00	700. 00	700. 00	700. 00	700. 00	700.00	700. 00
下吅山成奴	灬	1, 027. 00	915. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)適合通知率	%	90.00	90. 00	90.00	90. 00	90.00	90.00	90. 00
	70	100.00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】	-			
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
				妥当ではない	
	評価理由	法令等に基づく規制誘導や	や市民	啓発事業は、市が担う必要がある。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	届出等の件数は目標に達し	してい	ないが、概ね成果が上がっている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\mathcal{H}}$
			D	効率的でない	
	評価理由	効率的に規制誘導や啓発を	を実施	している。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	長期的な事業の継続は、有	自効では	ある。	
1					
	評価理由				·

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和6年度においては、景観計画に基づ、良好な景観の形成や保全が推進されてい定後15年あまりが経過しているため、令を策定した。本計画の策定にあたっては、2年度に策定したびわこ東海道景観基本計図っている。 景観絵画展などの市民啓発事業についてして実施していく。	るところである。また、平成 和4年度から令和6年度まで 社会情勢の変化や景観に対す 画や大津市歴史的風致維持向	18年に策定した大津市景観計画は、策の3ヵ年をかけて第2次大津市景観計画 る市民意識等を踏まえるとともに、令和 上計画の趣旨に基づく景観形成と整合を

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
			に、引き続き計画に基づく規制・誘導や
	啓発事業に取り組み、市民や事業者と協働 観の実現を目指していく。	し、自然、歴史及び文化が調	和した百都大洋にかさわしい風俗める京
部局コメント	観の美境を日相している。		
(400文字)			
(400)			

上段:目標值 下段:実績値

### 事務事業評価指標一覧

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1303
 都市計画部都市計画課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 00759 都市景観形成推進事業

事務事業番号 00759 指標名	単位	京観形以推進事業	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	△和 0左座	上段:日標個	<u>ト段:美領</u> 個 令和11年度
(活動)景観計画区域内	件	令和 5年度 200.00	200.00	200. 00	200. 00	<u>令和 9年度</u> 200.00	令和10年度 200.00	200. 00
行為届出又は事前協議 件数	指標説明	163.00	136.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	拍标就明	京観法に定める	景観計画区域内行	T為の油出又は事				
(活動)市民啓発事業等 の開催数	回	2. 00 2. 00	2. 00 2. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00
の用惟致	指標説明			0.00 最の表彰式1回、		0.00	0.00	0.00
(ば新) 見知公正足。の						700 00	700.00	700.00
(活動) 景観絵画展への 作品出展数	点	700.00 1,027.00	700. 00 915. 00	700. 00 0. 00	700. 00 0. 00	700. 00 0. 00	700. 00 0. 00	700. 00 0. 00
	指標説明	市民啓発事業で	ある景観絵画展へ	の作品出展数			•	
(成果)適合通知率	0.4	90.00	90.00	90. 00	90.00	90.00	90. 00	90. 00
	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	指標説明	景観計画の指導	の結果、届出をる	された件数に対す	る適合通知の割合	ì		
					<u>l</u>		<u> </u>	
					ı			
					, ,			
					l l			
							T	
		1						
					<del>                                     </del>	ı	1	
	<u></u>							
		+					I	
	-							
							T	
					<u> </u>		<u> </u>	
10070050								

整理番号 0181

評価年度令和 6年度所属1303

01879

 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 1303
 都市計画部都市計画課

都市計画施策調整事業

所属長名西村 健記入者北村 裕樹

事務事業番号 【基本情報】

総合計画		計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	010 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします								
施策	025 都心エリアの再生と地域形成								
取組の方向性	002 コンパクトな都市構造の構築								
事務事業	003 都市計画施	策調整事業							
運営方法	直営				-				
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等	都市計画法	•	•	•	•				
事業概要	一クの再構築、湖西	台地区の土地利用に向い			心エリアの充実、交通ネットワ				
事業概要	一クの再構築、湖西は								
事業概要 事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会 人口の急激な減少と 現すること、財政面別 (見直しや改善等の経 令和3年度に大津市 令和5年度には大津市 見直しに向けたニー	会地区の土地利用に向け 環境) 高齢化を背景として、高 及び経済面において持続 3過) 立地適正化計画を策定し 市都市計画マスタープラ	けた調査、検討に取 高齢者や子育で世営 売可能な都市経営 で の の の 中間評価を は で が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	り組む。 にとって、安心で 可能とすることが 計画を踏まえ都市 い、令和6年度に は、令和6年度に	きる健康で快適な生活環境を実				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会 人口の急激な減少と 現すること、財政面別 (見直しや改善等の経 令和3年度に大津市 令和5年度には大津市 見直しに向けたニー	会地区の土地利用に向い 環境) 高齢化を背景として、 及び経済面において持続 過) 立地適正化計画を策定し 市都市計画マスタープラ ズ調査を行った。また活	けた調査、検討に取 高齢者や子育で世営 売可能な都市経営 で の の の 中間評価を は で が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	り組む。 にとって、安心で 可能とすることが 計画を踏まえ都市 い、令和6年度に は、令和6年度に	きる健康で快適な生活環境を実 必要となっている。 計画道路網の見直しを行った。 その評価結果を踏まえ用途地域				
事業を取りまく社会	(事業を取りまく社会 人口の急激な減少と 現すること、財政面別 (見直しや改善等の経 令和3年度に大津市 令和5年度には大津市 見直しに向けたニー	会地区の土地利用に向い 環境) 高齢化を背景として、 及び経済面において持続 過) 立地適正化計画を策定し 市都市計画マスタープラ ズ調査を行った。また活	けた調査、検討に取 高齢者や子育で世営 売可能な都市経営 で の の の 中間評価を は で が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	り組む。 にとって、安心で 可能とすることが 計画を踏まえ都市 い、令和6年度に は、令和6年度に	きる健康で快適な生活環境を実 必要となっている。 計画道路網の見直しを行った。 その評価結果を踏まえ用途地域				

手段(どのようなやり方で)

都市計画マスタープランにおける将来都市構造の基本的な考え方に基づく取組を推進することで

成果(どのような 状態にするのか) コンパクトで質の高い持続可能な都市構造を構築する

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	タルコスト	14, 281	20, 879	10, 820	23, 170	20, 820	16, 070	15, 820
事	業費	3, 751	10, 349	1, 070	13, 420	11, 070	6, 320	6, 070
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3, 751	10, 349	1, 070	13, 420	11, 070	6, 320	6, 070
人	件費計	10, 530	10, 530	9, 750	9, 750	9, 750		9, 750
	事務・技術(人)	1. 35	1. 35	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0181

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1303 都市計画部都市計画課

都市計画施策調整事業

事務事業番号 01879 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-06-00-17-00	都市計画施策調整事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)都市計画に関す る検討会議数		3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
の快削去職奴	비	4. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) D I D地区内の 人口密度	人/km <sup>*</sup>	6, 770. 00	6, 770. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人口省及	A/ KIII	6, 800. 00	6, 840. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)居住誘導区域内 の人口密度	人/ha	73. 90	73. 90	73. 90	73. 90	73. 90	73. 90	73. 90
の人口名及	入/ IIa	74. 38	74. 51	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】	-			
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由		主体的	に行う施策調整事業である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
			D	上がっていない	
	評価理由	立地適正化計画を策定し持	進進す	ることで徐々に成果を上げている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	都市計画審議会等を計画的	内に行	えた。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
			D	貢献していない	
	評価理由	コンパクトな都市構造の株	構築に	貢献している。	
	·				
I	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

工業系用途地域について、令和6年度に見直しに向けたニーズ調査を実施した結果、多くの企業が事業用地を 選定する上で、必要な面積の確保、用地価格、人材・労働力の確保、通勤・操業環境等の条件を重視していることや、拠点の新設を検討している企業が一定数あることが把握できた。このことから、滋賀県が実施している都 所属コメント
(400文字)

「また、湖西台地区については、令和6年度にサウンディング型市場調査を実施した結果、同地区は産業用地と して立地優位性があり、一定の需要を見込めることなどが把握できたことから、今後はこの調査結果を県と共有 し、採択された県産業用地開発事業を推進していく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
			の利活用による経済活力の向上を図るた
	め、土地利用に即した用途地域の見直し様	₿討を進める。また、湖西台地	区の利活用に向け、滋賀県及び本市産業
	観光部との連携を推進する。		
部局コメント			
(400文字)			
, , , , ,			

 評価年度
 令和6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1303
 都市計画部都市計画課

 総合計画
 03
 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01879		+画施策調整事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)都市計画に関す	<u>単位</u>	令和 5年度 3.00	<u>令和 6年度</u> 3.00	<u>令和 7年度</u> 3.00	令和 8年度 3.00	<u>令和 9年度</u> 3.00	令和10年度 3.00	令和11年度 3.00
る検討会議数	回	4. 00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	指標説明	都市計画マスター	ープランや立地遊	5正化計画に即し	たまちづくりと	するための検討会	<b>除議数</b> 。	
(成果) DID地区内の	人/km <sup>*</sup>	6, 770. 00	6, 770. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人口密度	指標説明	6,800.00		0.00 F) のりょり物区	0.00 内の人口密度を	0.00 主淮レオス	0. 00	0. 00
	10.1200.41							
(成果)居住誘導区域内 の人口密度	人/ha	73. 90 74. 38	73. 90 74. 51	73. 90 0. 00	73. 90 0. 00	73. 90 0. 00	73. 90 0. 00	73. 90 0. 00
の八百田及	指標説明	令和元年度末の	人口密度(73.9人	、/ha)以上(現 <sup>x</sup>	大維持)を基準と		立地適正化計画の	指標)
					I		Г	
					ı		1	
							Ι	
							<u> </u>	
					I		Ι	
							1	
					I		Г	
							l l	
					l			
			1		1		<del>                                     </del>	
					<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
			1		I		<del>                                     </del>	
							<u> </u>	
		<u> </u>	-		1			
							<u> </u>	
		+			1		Г	
IP27P050		•		F 40				

整理番号 0182

 評価年度
 令和 6年度

 所属
 1303

01900

 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 1303
 都市計画部都市計画課

都市景観施策促進事業

所属長名 西村 健 記入者 上田 真由美

事務事業番号 【基本情報】

【坐作用报】							
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針	002 自然、歴史、文	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り					
基本政策	007 悠久の歴史と文	化を大切にし、次作	に継承します				
施策	018 古都にふさわし	い景観づくり					
取組の方向性	001 次代に引き継ぐ	景観づくり					
事務事業	002 都市景観施策促	進事業					
運営方法	直営		•	•	•		
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
根拠法令等	景観法、古都大津の風格	ある景観をつくる基	本条例	Į.			
事業概要	の保全を図る。				東海道でつながる広域的景観 全が調和したまちづくりを推		
(事業を取りまく社会環境)							
【事業分析】	1						
対象(何▽け誰を)	本市の美しく同格ある書	組を					

【争美分析】	
対象(何又は誰を)	本市の美しく風格ある景観を
目的(何のために)	市民共有の財産として守り、次世代に引き継ぐため
手段(どのようなやり方で)	びわこ大津草津景観推進協議会やびわこ東海道景観協議会など、草津市との景観連携の取組や、学識経験者などによる景観アドバイス制度を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	広域的景観が保全されるとともに連続性・統一性のある景観が創造される

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	タルコスト	16, 071	7, 140	7, 230	7, 430	7, 430	7, 430	7, 430
=	事業費	463	422	590	790	790	790	790
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	463	422	590	790	790	790	790
	人件費計	15, 608	6, 718	6, 640	6, 640	6, 640	6, 640	6, 640
	事務・技術(人)	1. 96	0. 81	0.80	0.80	0.80	0.80	0. 80
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
- 7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0182

評価年度 令和 6年度

度 進捗区分 評価完了

所属 1303 都市計画部都市計画課 事務事業番号 01900 都市景観施策促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-31-00-03-00	都市景観施策促進事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】	•			•		•	上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)草津市との連 携会議開催数		3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
<b>防云</b>	비	4. 00	4. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)市民又は事業	動)市民又は事業の景観づくり支援 回	2. 00	2. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00
有への京観 フィッス接 数		3. 00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 東海道統一案 内看板設置数	地域	19. 00	20. 00	21.00	22. 00	23. 00	23. 00	23. 00
內有似故直致	地域	18. 00	21. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	草津市と連携し、市民・哥	事業者の	の意見を取り入れ実施している。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	良好な景観形成が概ね推り	進でき	ている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
			D	効率的でない	
	評価理由	草津市と連携し、効率的に	こ事業	を推進することができている。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	•
	評価理由	草津市と連携し、広域的な	ょ景観	形成の推進ができている。	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
「景観アドバイス制度」については、庁内においても制度を活用しており、建築物等を新築する際、これまでに3件の利用実績があるなど、同制度を通じて都市機能と景観保全が調和したまちづくりの推進に寄与している。第2次大津市景観計画の策定を機に、今後も同制度の周知啓発を行い、更なる利用の促進を図っていく。 草津市との景観連携においては、「景観づくりチャレンジ隊」などの市民啓発事業に取り組んでおり、民間事業者の協力により東海道統一案内看板が市内に21基設置されるなど、一定の成果をあげている。今後も両市の連携のもと、啓発事業を継続しながら着実に広域的景観形成を推進する。

【部局評価結果】									
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持						
部局コメント (400文字)	11月1日から施行する第2次大津市景イス制度の活用を位置付けており、これら全が調和したまちづくりを推進していく。		携した広域景観連携の取組や景観アドバ 、広域的景観の保全や都市機能と景観保						

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1303
 都市計画部都市計画課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 01900 都市暑観施策促進事業

事務事業番号 01900	都市景	最 程 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 。 記 記 。 記 。 記 。						下段:実績値
指標名 (活動)草津市との連	単位	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>令和 8年度</u> 3.00	<u>令和 9年度</u> 3.00	令和10年度 3.00	令和11年度 3.00
携会議開催数	回	4. 00	4.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	びわこ大津草津	景観推進協議会、	びわこ東海道景	観協議会の開催数	Ż .		
 (活動) 市民又は事業		2. 00	2. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00
者への景観づくり支援		3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	指標説明				数(令和3年度よ			
(成果) 東海道統一案 内看板設置数	地域	19. 00 18. 00	20. 00 21. 00	21. 00 0. 00	22. 00 0. 00	23. 00 0. 00	23. 00 0. 00	23. 00 0. 00
	指標説明	東海道統一案内			<u> </u>	0.00	0.00	0.00
				Г	<u> </u>	ı		
				1	1	ı		
				I	<del>                                     </del>	<del></del> 1	Т	
					I			
				<u> </u>	<u> </u>			
				Ī		ı		
							<u>'</u>	
					<u> </u>	Į.		
				Γ	<u> </u>	Ī		
			_	Т	<del>                                     </del>			
							T	$\neg$
					<u> </u>	Į.	Į.	
					Г	I	Ι	
				l				
				Ī				
						<u>.</u>	<u>l</u>	
					Г	I	Ι	
								l
10270050	Ĭ.	1.						

整理番号 0183

評価年度 令和 6年度

評価完了 進捗区分 1306 都市計画部都市魅力創造課 所属 事務事業番号 01898 都市再生活動促進事業

所属長名 草薙 卓 森井 啓太 記入者

成果(どのような

状態にするのか)

【基本情報】									
総合計画	03 大津市総合	計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	010 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします								
施策	025 都心エリアの再生と地域形成								
取組の方向性	001 都心エリア(	001 都心エリアのにぎわい創出							
事務事業	004 都市再生活動	004 都市再生活動促進事業							
運営方法	民間委託								
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等	都市再生特別措置法	•		•					
	(事業概要)								
	大津駅から大津港周辺	2へのさらなる回遊性の	向上やにぎわいの	創出に向け、官民	連携により、大津駅前の公共空				
		港周辺におけるにぎわ							
		-1814,21-0017 01-017	· /// // // // // // // // // // // // /	1 <u>1</u> 2					
事業概要									
	/ 車業を取りまり社会	T⊞ <del>  ±</del> \							
	(事業を取りまく社会)		71418 3144	ナ町から知出しる	ようれて日本性のウェルロギュ				
					さらなる回遊性の向上やにぎわ				
****				<b>令和6年度に大津</b>	港活性化・再整備基本構想を策				
事業を取りまく社会		て取り組んでいく必要が 300	める。						
環境とこれまでの見直し	(見直しや改善等の経	· <b>-</b> /							
					いては、駅前広場等を利活用す				
					においては、官民連携組織の構				
	築に向けて、水辺のま	きちづくりの事例を学ぶ	とともにクロスト	一クや意見交換を	行い、機運の醸成を図った。				
【事業分析】									
対象(何又は誰を)	大津駅から大津港周辺	1の							
目的(何のために)	駅から湖岸、まちなか	ヽへの動線づくりや、に	ぎわい創出を目的	に					
手段(どのようなやり方で)	公共空間の利活用事業	美や大津港周辺における	官民連携組織の構	築等を実施し					
	= /\_\(\overline{\pi}\)		H = 4×= 153 (124 (20) 4 ) [17	, C / 1/10 O					

【コスト】	(単位・千円)

回遊性を向上させ、にぎわいを創出する

	1 ^	· <b>Г</b> ]							(単位:十円)
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
١-	-タ	ルコスト	30, 306	19, 348	25, 269	21, 012	21, 012	21, 012	21, 012
	事詞	業費	20, 010	8, 428	13, 569	9, 312	9, 312	9, 312	9, 312
		国庫支出金	0	4, 236	9, 057	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	20, 010	4, 192	4, 512	9, 312	9, 312	9, 312	9, 312
	人作	牛費計	10, 296	10, 920	11, 700				11, 700
		事務・技術(人)	1. 32	1. 40	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0183

評価年度令和 6年度所属1306

01898

度 進捗区分 評価完了 都市計画部都市魅力創造課 都市再生活動促進事業

【関連予算情報】

事務事業番号

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-29-00-19-00	都市再生促進事業費	都市計画部都市魅力創造課

【定量評価】	<u> </u>						上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(成果)琵琶湖観光客入		150. 00	150. 00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
<b>込数</b>	万人/年	115, 21	102. 42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		110. 21	102. 42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】	<u> </u>							
評価項目		評価の観点			基準			評価
妥当性	実	施主体又は手段は妥	A 妥)	当である	<u> </u>			ц і іш
		か		ぎ妥当である				
1				まり妥当ではない				
				当ではない				
評価理由		間が参画しやすい環						
有効性		業分析の「成果」欄		がっている				
		記載の成果は上がっ いるか		<sup>さ</sup> 上がっている まり上がっていな	.1.5			$\boldsymbol{arphi}$
2		いるか		<sub>まり上かっていな</sub> がっていない				
	分	·共空間の利活用に関						
効率性		業手法は効率的であ		<u> </u>				
773 1 1=	_	か		- <u> </u>				
3				まり効率的でない	1			
			D 効率	<b>മ的でない</b>				
評価理由		間事業者と連携しな						
施策への貢献度		策目標の達成に貢献		状している				
	し	ているか		や貢献している				$\boldsymbol{arphi}$
4				まり貢献していな	: L1			
=T: /TT TE -		サ中田のがて田にし		状していない				

評価理由

評価理由

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	大津駅前では、駅周辺のにぎわい創出、駅		
	する事業者等の発掘及び育成に向けてイベ	ント開催に係る実践的な講座	や伴走支援を実施したことにより、令和
	6年度はイベントの主催者が増え、公共空	間の年間利活用日数が令和5	年度の5日から74日へと飛躍的に増加
所属コメント	した。今後も引き続き大津駅前広場等の利	活用プレーヤーの発掘・育成	を進めていく。大津港周辺では、官民が
(400文字)	連携して継続的に取組を進める必要がある	ことから、令和7年度はエリ	アプラットフォーム(官民連携組織)を
	構築し、周辺事業者や地域等とともに意見	交換を行いながら、滋賀県が	策定した大津港活性化・再整備基本構想
	と整合の取れた活用計画(未来ビジョン)	を策定し、エリアのさらなる	にぎわい創出に取り組んでいく。

公共空間の利活用によるにぎわいが創出できた。

【部局評価結果】

総合評価	計画とおり事業を進めることが適当	事業の万回性	拡大
	大津駅前から湖岸への動線づくりを推進 用を図り、地元、周辺事業者、滋賀県等と		
部局コメント (400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1306
 都市計画部都市魅力創造課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 01898	都市再	「松石町画 第2票 「生活動促進事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (成果) 琵琶湖観光客入	単位	令和 5年度	令和 6年度	<u>令和 7年度</u> 150.00 0.00	<u>令和 8年度</u> 150.00	<u>令和 9年度</u> 150.00 0.00	令和10年度 150.00 0.00	<u>令和11年度</u> 150.00 0.00
(成果) 琵琶湖観光客入  込数	万人/年	150.00 115.21	150.00 102.42	150.00	150. 00 0. 00	150.00 0.00	150.00	150.00
	指標説明	琵琶湖湖岸周辺(			数	0.00	0.00	0.00
						, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
				1			1	
				<u> </u>	<u> </u>		1	
							I	
				<u> </u>				
							I	
				<u> </u>			-	
							I	
			<u> </u>	<u> </u>				
						-	•	
							l.	
				<u> </u>			1	
							I	
1P27P050								

曽我 健太

# 事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0184

令和 6年度 評価年度

手段(どのようなやり方で)

成果(どのような

状態にするのか)

評価完了 所属長名 中井 英紀 進捗区分 都市計画部公園緑地課 1809 記入者 所属

事務事業番号 80000 児童遊園地維持管理事業

【基本情報】									
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画							
基本方針	002 自然、歴史、文	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り							
基本政策	006 自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします								
施策	015 自然環境の保全								
取組の方向性	002 里地里山等の保	002 里地里山等の保全・再生							
事務事業	004 児童遊園地維持	管理事業							
運営方法	直営			•					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
担加法合体	旧辛拉加法 初末計画法								
根拠法令等									
事業概要									
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	々、児童遊園地が増加し 討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 職員による日常点検に加:	利用する児童遊園地 ている。一方、少子 え、専門業者による 査を踏まえて、児童	高齢化など社会状 遊具点検を実施し	況の変化に伴い、ī 、劣化が進行した過	市内では、宅地開発により、年 市民ニーズを反映したあり方検 遊具の修繕等を行ってきた。ま 地域と市との協働管理などを目				
【事業分析】									
対象(何又は誰を)	児童遊園地								
目的(何のために)	生活や遊びの中で自主性	や社会性を育てるた	め。						

【コスト】							(単位:千円)
	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	109, 534	105, 622	110, 228	126, 706	126, 706	126, 706	126, 706
事業費	81, 394	76, 272	82, 828	99, 306	99, 306	99, 306	99, 306
国庫支出金	4, 890	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3, 321	600	0	0	0	0
一般財源	76, 504	72, 951	82, 228	99, 306	99, 306	99, 306	99, 306
人件費計	28, 140	29, 350	27, 400	27, 400	27, 400	27, 400	27, 400
事務・技術(人)	1. 70	1. 65	1. 40	1. 40	1.40	1. 40	1. 40
技能労務 (人)	1. 60	1. 60	1. 60	1.60	1.60	1.60	1. 60
再任用(人)	0.00	0.00	0.00				0.00
会計年度任用(人)	1. 50	1. 60	1. 60	1. 60	1.60	1. 60	1. 60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

都市公園における遊具の安全確保に関する指針に準じ、日々点検・対応している。

安全で快適に遊ぶことができ、地域コミュニティを形成する場所となる。

整理番号 0184

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-06-00-75-00	児童遊園地維持管理事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】 上段:目標値 下段:実績値 令和10年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 指標名 単位 令和 9年度 令和11年度 (活動)遊具等の安全点 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 検箇所数/R5~点検 箇所/率 100 00 100 00 0.00 0.00 0.00 0 00 0 00 (成果)安全性の確保( 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 事故発牛件数) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 (成果)適正化箇所数 8.00 4.00 8.00 8.00 8 00 8.00 8.00 個所 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 地域住民との協働管理を取り組んでいく。 評価理由 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がっている に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С D 上がっていない 評価理由 利用されている場所については快適に利用されている 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である るか В やや効率的である С あまり効率的でない D 効率的でない 評価理由 直営管理により迅速な対応が行えている。 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない C 貢献していない D 評価理由 地域の身近な憩いの場として施策の貢献度は高い。 評価理由

【所属評価結果】
総合評価

事業の進め方に改善が必要

事業の方向性

現状維持

令和6年度は、児童遊園地数が638箇所まで増加する中、子どもの安全を最優先した適切な維持管理が実施できており、引き続き適正な維持管理に努める。また、協働管理については、モデル事業におけるこれまでの取組状況を踏まえ、内容を精査するとともに、児童遊園地の在り方を検討するなど、地域のニーズに応じた維持管理に向けた検討を行う。

【部局評価結果】
総合評価

事業の進め方に改善が必要

「児童遊園地が増えていく中、維持管理の在り方を見直す必要がある。また、借地等により設置された児童遊園地のうち、利用の少ない場所は返還するなど、児童遊園地の在り方と効果的な協働管理手法について検討し、安心・安全な子どもの遊び場を提供していく。

部局コメント
(400文字)

評価年度令和 6年度進捗区分評価完了所属1809都市計画部公園緑地課総合計画03大津市総合計画第2期実行計

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 00008 児童遊園地維持管理事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 00008	児童遊	児童遊園地維持管理事業 上段:目標値 下段						
指標名	単位	<u> </u>	令和 6年度 100.00	令和 7年度 100.00	令和 8年度 100.00	令和 9年度 100.00	令和10年度 100.00	令和11年度 100.00
(活動)遊具等の安全点 検箇所数/R5~点検	箇所/率	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
率	指標説明	遊具等の安全点	検を実施した児童	遊園地数				
(成果)安全性の確保(	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事故発生件数)	」' 指標説明	0.00 児童遊園地内で	0.00 の事故発生供数	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(武田) 英工化签配数				0.00	0.00	0.00.1	0.00.1	0.00
(成果)適正化箇所数	個所	4. 00 2. 00	8. 00 2. 00	8. 00 0. 00				
	指標説明	適正化を実施し	た遊園地数(箇所	i)				
							T	
				1	I			
						ı		
					<b>_</b>	I		
						L	Į.	
							-	
						ı		
						I	Γ	
						1		
						•		
							<u>.</u>	
							Γ	
10070050		]						

整理番号 0185

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1809 都市計画部公園緑地課 所属 事務事業番号 02397 公園愛護会管理運営事業

所属長名 中井 英紀 記入者 曽我 健太

【基本情報】

【						
総合計画	03 大津市総合計画 3					
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります					
基本政策	004 つながりを大切にし、共に支えあうまちにします					
施策	011 協働のまちづくりの	の推進				
取組の方向性	002 協働の推進					
事務事業	001 公園愛護会管理運営	営事業				
運営方法	その他		-	-	•	
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	都市公園法 大津市都市公園	<b>3</b> 条例	L	<u>.</u>	•	
	(事業概要)					
	第4次大津市緑の基本計画に	定めた「協働に	よる緑のまちづくりのケ	促進」に向け、公園	國愛護会(地域の自治会な	
	どの団体)と公園管理者との	)役割を分担した	うえで、住民主体の都	市公園の清掃活動に	対する支援を行う。	
-t- 10.1		, KII, C // 1_ 0 /C	> *** (	. [		
事業概要						
	(事業を取りまく社会環境)					
	公園愛護会への新たな加入が	ぶなる一士で 冊	雄合合昌の古齢化学に	F 川退合め級数する	く団体まなる	
		いめる一万で、変	<b>設太太貝の向即化守に</b> 。	より返去で胜取りる	でるるののの	
<b>本** * 5</b> 11 + 7 + 4 へ	(見直しや改善等の経過)	一生まれる	回フェレズ 八国の姓	せ 年 田 ギ 大 中 レ イレ	<b>、</b> 7	
事業を取りまく社会	公園愛護会と都市公園の指定	官理石か建携を	凶ることで、公園の稚	付官埋か允美して し	<b>、</b> る。	
環境とこれまでの見直し						

_【事業分析】	
対象(何又は誰を)	地域の自治会が承認する団体に対して、
目的(何のために)	地域にある都市公園を美しく維持するために、
手段(どのようなやり方で)	清掃活動の実績に応じて報償費を支払うことで、
成果(どのような 状態にするのか)	公園の美化を維持するとともに、市民協働で公園管理を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	マルコスト	6, 330	6, 225	7, 159	7, 304	7, 304	7, 304	7, 304
事	業費	5, 940	5, 835	6, 769	6, 914	6, 914	6, 914	6, 914
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5, 940	5, 835	6, 769	6, 914	6, 914	6, 914	6, 914
人	件費計	390	390	390	390	390	390	390
	事務・技術(人)	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

下段:実績値

105.00

令和11年度

上段:目標値 令和10年度

105.00

# 事務事業評価シート(2/2)

整理番号 0185

評価年度令和 6年度所属1809都市計

F度 進捗区分 評価完了 都市計画部公園緑地課

単位

団体

公園愛護会管理運営事業

令和 5年度

100.00

事務事業番号 02397

指標名

(活動)公園愛護会数

【定量評価】

 【関連予算情報】
 予算事業
 予算事業番号
 予算所属名称

 01-40-20-25-06-00-05-00
 協働による維持管理事業費
 都市計画部公園緑地課

令和 7年度

100.00

令和 6年度

100.00

令和 8年度

105.00

令和 9年度

105.00

	四体		93. 00		95. 0	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果) 公園愛護会が清	T		100.00		100.0	0 100.00	105.00	105.00	105.00	105.00
掃活動する公園数	公園		94. 00		96. 0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】								_		
評価項目		ļ.,,	評価の観点	_			基準			評価
妥当性			直主体又は手段は	妥		当である				
4		当か	`			ぼ妥当である				$\boldsymbol{arphi}$
1						うまり妥当ではない 当ではない	1			
評価理由		ᇸ	はの白海体が承認	オスト		<u>きョじはない</u> 助しており、妥当で	である			
有効性			(の日/10 体が水臓 (分析の「成果」			<u>がしており、女当り</u> がっている	C W W o			
HWIT			己載の成果は上が			や上がっている				
2			いるか	-		<u>、                                    </u>	il)			$\boldsymbol{H}$
						がっていない				
評価理由		清掃	掃活動を実施して	いるな	公園数が均	曽加し、成果が上た	がっている。			
効率性		事業	美手法は効率的で	· あ	A 刻	率的である				
		るか	`			や効率的である				
3						まり効率的でない	1			
						率的でない				
評価理由						らり、公園の美観な	が保たれている			
施策への貢献度			5目標の達成に貢 -	献		献している				<b>A</b>
		IL T	こいるか			や貢献している	NI.			Δ
4						まり貢献していな 献していない	£67			
評価理由		拉桶	hに トス 小 周 竺 珥	11- F L		IMACといない ってまちづくりに耳	D U 組めている			
計画性田		1加 1到	ころのと図目は	±1- & %	フ、 lm /J (	J C & O J C 9 ICA	スツルロンといる			

総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 公園愛護会の活動は、新たな登録団体の伸び悩みや既存団体の高齢化が進んでいることから、周知啓発等を積極的に行い施策の持続可能性について、引き続き検討を行う。 所属コメント (400文字)

【部局評価結果】

評価理由 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 	事業の方向性 	現状維持
	公園愛護会の活動は、公園の維持管理によ 推進の観点からも引き続き、公園愛護会の		
部局コメント (400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1809
 都市計画部公園緑地課

 総合計画
 03
 大津市総合計画 第2期実行計画

 事務事業番号
 02397
 公園愛護会管理運営事業

事務事業番号 02397 公園愛護会管理運営事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 02397	公園	愛護会管理運営事	業				上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)公園愛護会数	単位	令和 5年度 100.00	<u>令和 6年度</u> 100.00	令和 7年度 100.00	<u>令和 8年度</u> 105.00	令和 9年度 105.00	<u>令和10年度</u> 105.00 0.00	令和11年度 105.00 0.00
	団体	93.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	登録公園愛護会	の団体数					
(成果)公園愛護会が清	公園	100.00	100.00 96.00	100. 00 0. 00	105. 00 0. 00	105. 00 0. 00	105. 00 0. 00	105. 00 0. 00
掃活動する公園数	指標説明	94.00 公園愛護会が清:	96.00 帚活動する公園数	0.00 k	0.00	0.00	0.00	0.00
		_						
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		1	1		-	1		
							<u> </u>	
		-	<u> </u>		ı	1	<u> </u>	
				<u> </u>				
		1			<u> </u>	ı	1	
				<u> </u>				
					ı	ı	Т	
IP27P050								
- / / PUDU								

整理番号 0186

評価年度 令和 6年度

進捗区分 1809 所属

評価完了 都市計画部公園緑地課

所属長名 中井 英紀 奥川 豪 記入者

事務事業番号 04192 なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業

【基本情報】
--------

【基本情報】							
総合計画	03 大津市総合計画	***************************************					
基本方針	002 自然、歴史、文	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り					
基本政策	006 自然豊かな景観	006 自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします					
施策	015 自然環境の保全						
取組の方向性	002 里地里山等の保	·全・再生					
事務事業	009 なぎさ公園周辺	009 なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業					
運営方法	直営		•				
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
根拠法令等	都市公園法 大津市都市	公園条例					
	(事業概要)						
	竣工から20年以上が経過している大津湖岸なぎさ公園について、老朽化が進む公園施設の長寿命化対策や安全対						
	策を進めるとともに、社会情勢の変化やニーズの多様化などにあわせた公園の多機能化や魅力向上に向けた調査						
<b>事業</b> 柳	・検討及び再整備を行う。						
事業概要							
	(事業を取りまく社会環	境)					
			駐車場の駐車台数	数は減少傾向にあり	、公園利用者の減少や利用時間		
					る公園の多機能化に対応するた		
事業を取りまく社会					えられるなど、公園の魅力向上		
環境とこれまでの見直し	に向けた再整備の機運が						
SAUGE CHOOL COUNTY	(見直しや改善等の経過)	III 0. 2 C 0 0 0					
	(30 - 0 , 31 - 1 , 1 , 1 , 1 , 1 , 1 , 1	組織としてなぎさの	·園周辺魅力向上:	プロジェクトを立ち	上げ、公園駐車場料金設定変更		
	1. 1 1			· · · ·	た取り組みを進めている。		
「 <b>ナ</b> ** ハ ** * * * * * * * * * * * * * * *	正五天派で中氏ノノノ丹	正畑尹木なこ、なこ	CAMC(WIN	20/60/1011111111111			

【事業分析】	•
対象(何又は誰を)	大津湖岸なぎさ公園において、
目的(何のために)	安心安全な公園づくりとともに、新たなにぎわいを創出するため、
手段(どのようなやり方で)	長寿命化対策、安全対策、民間活力の活用やエリアごとに特色を持たせた再整備を実施することにより、
成果(どのような 状態にするのか)	近隣住民だけでなく広く県内外から多様な人々が集い、滞在できる公園とする。
【コスト】	(単位・千円)

(里)	14 :	十円)	
_	T= 11	<del>/</del>	7

L =	ュヘ	<b>^</b> ]							(単位:十円)
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	-タ	ルコスト	111, 796	348, 620	61, 965	73, 686	53, 686	53, 686	33, 686
	事詞	<b>業費</b>	98, 146	335, 594	52, 215	63, 936	43, 936	43, 936	23, 936
		国庫支出金	33, 059	139, 799	25, 850	31, 000	21, 000	21, 000	10, 000
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	28, 092	125, 800	23, 200	27, 000	18, 000	18, 000	9, 000
		その他	7, 975	9, 872	3, 165	0	0	0	0
		一般財源	29, 020	60, 123	0	5, 936	4, 936	4, 936	4, 936
	人作	牛費計	13, 650	13, 026	9, 750		9, 750	9, 750	9, 750
		事務・技術(人)	1. 75	1. 67	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25
		技能労務(人)	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0186

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1809 都市計画部公園緑地課

事務事業番号 04192 なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-36-00-07-00	なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】				•			上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)LED化した 公園灯の基数	基	20. 00	20. 00	10.00	10.00	10.00	10.00	10. 00
公国別の奉教	至	9. 00	38. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果) なぎさ公園駐	4	197, 000. 00	203, 000. 00	209, 000. 00	215, 000. 00	221, 000. 00	221, 000. 00	221, 000. 00
車場駐車台数	台	170, 205. 00	162, 020. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

[	定性評価】	•			•
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
				妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	長寿命化対策と魅力向上に	こ資すん	る再整備が進んでおり妥当である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	にぎわい創出拠点と周辺球	環境整個	<b>備が進んでおり有効である。</b>	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由	官民連携手法により行政コ	コスト	を抑えており効率的である。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	<i>,</i> ,
	評価理由	なぎさ公園周辺の魅力向」	Lにつ7	ながっており貢献している。	
	評価理由				·

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
拡大
なぎさ公園のさらなる魅力向上のため、令和4年度から公募設置管理制度 (Park-PFI) を活用して官民連携により取り組んできた市民プラザの再整備が完了し、令和7年3月に「LAGO 大津」がオープンした。また、来訪者数の増加を見据え、令和6年度は隣接するサンシャインビーチ駐車場等の再整備を実施するとともに、なぎさ公園の駐車場料金を利用しやすい料金体系へ見直すことにより、なぎさ公園へのアクセス向上や周遊性・滞在性の向上を図った。「LAGO 大津」はなぎさ公園の新たなにぎわい創出拠点としての役割を果たしており、サンシャインビーチエリアの再整備など、他のエリアへの改修を順次進めることで、なぎさ公園のさらなる魅力向上に繋がることから、計画どおり事業を進めることが適当である。

【部局評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

「本間60万人を見込んでいた「LAGO 大津」の来場者数は、オープン2か月で約28万人、1日平均4千人を超えているほか、湖上航路の新設などの取り組みも始まっており、新たなにぎわい創出拠点として着実に成果を出している。今後は、「LAGO 大津」のオープンによって創出される新たなにぎわいを公園周辺や市内各地へと広げていくため、公園施設の長寿命化対策などの改修を進めるとともに、なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトにおける各部局の取り組みや民間事業者とも連携し、本市の魅力向上に向けた事業を進めることが適当である。

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1809 都市計画部公園緑地課 所属 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 04192	なぎさ	公園周辺魅力向.	上プロジェクト事	業			上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度 20.00	<u>令和 6年度</u> 20.00	<u> </u>	令和 8年度 10.00	<u>令和 9年度</u> 10.00	令和10年度 10.00	<u>令和11年度</u> 10.00
(活動)LED化した 公園灯の基数	基	20. 00 9. 00	20. 00 38. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00
公園別の基数	指標説明	長寿命化対策に	よりLED化した	 -公園灯の数	0.00	0.00	0.00	0.00
(武田) かぎも八国町					215 000 001	221 000 001	221 000 001	221, 000. 00
(成果)なぎさ公園駐 車場駐車台数	台	197, 000. 00 170, 205. 00	203, 000. 00 162, 020. 00	209, 000. 00 0. 00	215, 000. 00 0. 00	221, 000. 00 0. 00	221, 000. 00 0. 00	0.00
	指標説明	なぎさ公園駐車:	場の年間駐車台数	Ż.				
			<u> </u>				1	
			<del>,</del>		<del></del>			
		_					T	
							L	
		<del> </del>	<u> </u>		ı	ı	Т	
						•	•	
			<u> </u>					
		1						
		ļ		-	-			
		İ	-			<u></u>	<u>l</u>	
					l	I	I	
		<del> </del>	1					
		<b></b>	<u>,                                      </u>		,		<del></del>	
		<del>                                     </del>					Ι	
		ļ						
		<del>                                     </del>	<u> </u>					
IP27P050		<u> </u>						

整理番号 0187

評価年度令和 6年度所属1810

00984

令和 6年度 進捗区分 評価完了 1810 都市計画部住宅政策課

都市計画部住宅政策課 住宅管理事業 所属長名 吉川 学 記入者 吉田 靖洋

事務事業番号 【基本情報】

【叁个'肎靵】								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に低	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	010 コンパクトで賃	質の高い持続可能なま	きちにします					
施策	027 住環境の整備							
取組の方向性	001 市営住宅の適1	E管理						
事務事業	001 住宅管理事業							
運営方法	その他		•	•	•			
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	公営住宅法	•		•				
事業概要	0	では記録を表現である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	特定の条件を付管理など市営住	した特定公共賃貸住! 宅の管理に係る事業:	宅49戸を含む)を対象とする を実施している。また、令和2 っている。			
(事業を取りまく社会環境) 社会環境の複雑化に伴い、単身高齢者等の住宅確保要配慮者への低廉な住宅の供給が必要となっている。一方、昭和40年から50年代に建設され、築年数が経過した多くの市営住宅が、今後、耐用年限を迎える。 事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し 大津市住宅マネジメント計画の基本方針に基づき、令和2年度から指定管理者制度を導入して、市営住宅の適正な管理を進めている。また、耐用年限が経過した市営住宅については、入居者の住み替えを進めるとともに、住み替えが完了した住棟は用途廃止を進めている。								
【事業分析】								
計争(何ひけ迷れ) まれたけなけた勘のは空に困窮している低極能復名								

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市内在住又は在勤の住宅に困窮している低額所得者。
目的(何のために)	住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃の住宅を供給する。
手段(どのようなやり方で)	定期空家募集を行うとともに特定目的住宅の整備を進め、指定管理者制度により市営住宅の適正な管理を行う。
成果(どのような 状態にするのか)	住宅に困窮する低額所得者に対する住宅確保と社会福祉の増進に寄与。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	286, 428	360, 433	289, 178	310, 116	289, 460	289, 459	289, 459
哥	<b>事業費</b>	254, 276	323, 673	251, 638	272, 576	251, 920	251, 919	251, 919
	国庫支出金	0	0	0	8, 690	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	254, 276	323, 673	251, 638	263, 886	251, 920	251, 919	251, 919
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
D	、件費計	32, 152	36, 760	37, 540	37, 540	37, 540	37, 540	37, 540
	事務・技術(人)	3. 40	4. 20	4. 30	4. 30	4. 30	4. 30	4. 30
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	1. 76	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0187

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

住宅管理事業

所属 1810 都市計画部住宅政策課

事務事業番号 00984

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-25-05-16-00-01-00	住宅管理事業費	都市計画部住宅政策課
_		

								一切 中线法
【定量評価】							上段:目標値	
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)募集戸数		120. 00	120. 00	120. 00	120.00	120. 00	120.00	120. 00
		120. 00	120. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)特定目的住宅整 備戸数	E E	0. 00	0. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
川川川 奴	۲	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)特定目的住宅整備戸数	E E	15. 00	15. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
<b>加户</b> 数		15. 00	15. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)募集した住戸への入居率	入居率	0. 00	0. 00	50.00	50.00	50.00	50.00	50. 00
の八店学	八石平	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	公営住宅法に基づき、地方	5公共[	団体が公営住宅を提供している	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{A}$
			D	上がっていない	
	評価理由	計画通り空家募集を行い、	低額	所得者の住宅提供が出来ている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
				効率的でない	
	評価理由	指定管理者制度を導入し、	耐用4	<b>年限により住棟を用途廃止している</b>	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	住宅確保が必要な低額所得	骨者に	氐廉な家賃で住宅を提供している	
	評価理由				

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 公営住宅法に基づき、市営住宅を整備することにより、住宅に困窮する低額所得者に住宅を提供するとともに、 より困窮度が高く、住宅確保に配慮を必要とする高齢者や障害者等を対象として募集する特定目的住宅を15戸 整備し、住宅セーフティネットとして機能の確保を図った。また、大津市住宅マネジメント計画に基づき、令和 所属コメント 2年度から指定管理者制度を導入し、市営住宅の管理全般を指定管理者により行っており、定期的な打ち合わせ (400文字) や状況に応じた情報交換により課題の共有を図るとともに、モニタリングによる評価を実施し、必要に応じて助 言及び指導を行い、市営住宅の適正な管理を進めていく。耐用年限が経過した市営住宅の用途廃止については、 入居者の住み替えを進めた結果、計画期間内で7団地、176戸の用途廃止を行った。引き続き、管理戸数の適 正化に努める。 【部局評価結果】

	【叩问計测和术】			
	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
L				
I		大津市住宅マネジメント計画に基づき、	引き続き耐用年限を経過した	市営住宅の入居者の住替えと用途廃止を
		進め、管理戸数の適正化を図るとともに、	住宅確保により配慮が必要な	要配慮者を対象とする特定目的住宅の整
		備を進め、住宅セーフティネットとしての	)対応を行う。	
ŀ	部局コメント	また、指定管理者と連携し、入居者に対	するサービスの向上に努める	とともに、本市のモニタリング指針に沿
	(400文字)	って助言及び指導を行い、低コストで質の	高い市営住宅の管理運営を推	進する。
		なお、大津市住宅マネジメント計画が令	1和8年度で終期を迎えること	から、空家対策、マンション施策、市営
		住宅などの住宅施策の個別計画を統合した	:、大津市住生活基本計画とし	て、令和7年度から2ヶ年度で次期計画
		の策定を進める。		
		って助言及び指導を行い、低コストで質の なお、大津市住宅マネジメント計画が令 住宅などの住宅施策の個別計画を統合した	)高い市営住宅の管理運営を推 和8年度で終期を迎えること	進する。 から、空家対策、マンション施策、市営

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1810 都市計画部住宅政策課 所属

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

総合計画 03 事務事業番号 00984		市総合計画 第2期 管理事業	男美行計画				上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	<u> </u>	令和 6年度 120.00	令和 7年度 120.00	令和 8年度 120.00	令和 9年度 120.00	令和10年度 120.00	<u>令和11年度</u> 120.00
(活動)募集戸数	戸	120.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明		年4回)(令和: <u>低額所得者に対し</u>		たり30戸募集、 する。	、年間120戸を	目標値とする)	
(活動)特定目的住宅整 備戸数	戸	0.00 0.00	0. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00
JH 7 32	指標説明	住宅セーフティ	ネットとして、。	より困窮度が高く	住宅の確保に配り		齢者や障害者等を	
(成果)特定目的住宅整	戸	15. 00	<u>慮者向け特定目的</u> 15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
備戸数	指標説明	15.00	15.00	0.00 主字確保亜配慮者	0.00 向け特定目的住 <sup>5</sup>	2の拡充)	0.00	0.00
/ <del>-</del>	101111111111111111111111111111111111111	※令和7年度か	らは活動指標とす	するため、成果指	「標としては廃止 <sup>っ</sup>	する。	50.00	F0.00
(成果)募集した住戸へ の入居率	入居率	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00
	指標説明	住宅に困窮する	低額所得者に対し て 募集百数の5	って、特定目的住 0%程度の新規 ス	空の整備も踏また 、居戸数を設定した。	えて、住宅を不足 <del>た</del>	となく提供すること	<u>:</u> が出来てい
		TO XXIII IX C C	<u> </u>	0 701至/夏 () 7 () 7 () 7 ()	WE WE C	<u> </u>		
			I	I	I	Ι		
			<u>I</u>	<u>I</u>	<u>I</u>		L	
			ı	ı	1	Г		
			<u>I</u>	<u>I</u>	<u>I</u>		l.	
			ı	1	ı	<u> </u>		
			I.	I.	I.	I	<u> </u>	
			1	1	1	T	•	

整理番号 0188

令和 6年度 評価年度

評価完了 進捗区分 都市計画部住宅政策課 1810 所属

所属長名 吉川 学 前田 孝暁 記入者

事務事業番号 02654 空家等対策事業

【基本情報】
--------

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針							
基本政策		の高い持続可能なま		A1 7 0 7			
施策	027 住環境の整備	아이는 아이는 아이는 아이는 아이는	(5)(0,6)				
取組の方向性	002 空き家の適正管	囲と有効活田					
事務事業	001 空家等対策事業	生と日別石田					
<b>事物事</b> 未	2001 主象等对象事条						
運営方法	 直営						
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
<b>开顺区</b> 力	<b>对</b> 承	工体权机区力	<b>八</b>				
根拠法令等	空き家等対策の推進に関す	トス特別共憲法					
10.00000000000000000000000000000000000	(事業概要)	のは別旧巨仏					
	人口減少・少子高齢化等を	北里仁 华在帝主	字の掛かに トスサゼノ	の仕理性やコミューニ	こく。の影響が深かして		
	きている。このことから、						
事業概要	合的かつ計画的に事業を通	きの、艮好な仕環境	の催保及の持続可能な	なまりつくりに奇子り	ることを目的とする。		
					_		
	(事業を取りまく社会環境	,					
	平成27年に空家対策特持						
	の制度等が拡充されている	ることから、計画的	かつ総合的な空家等対	対策が求められている			
事業を取りまく社会	(30 - 0 , 31 - 1 , 1 , 1 , 1 , 1 , 1 , 1 , 1 , 1 ,	(見直しや改善等の経過)					
環境とこれまでの見直し	平成28年度に法律を補見	平成28年度に法律を補完する大津市空家等適正管理条例を制定し、平成29年度には、空家等に関する対策を					
	総合的に推進するため大き	<b>非市空家等対策計画</b>	を策定した。令和5年	年度の法改正に伴い、	新たに規定された管理不		
	全空家等への指導等や財産	産管理制度を活用す	るとともに、本市独自	自の施策である定住仮	『進リフォーム補助事業等		
	を通じて、空き家発生の予	予防と利活用を推進	していく。				
【事業分析】	-						

【事業分析】

対象(何又は誰を)	空家等の所有者、地域住民及び関連事業者団体等
目的(何のために)	空家等の適正管理及び有効利活用の促進
手段(どのようなやり方で)	管理不全な有害空家等に関する改善指導等、官民連携の体制構築、定住促進リフォーム補助事業等の実施、地域 主体の空家等対策の取り組み支援
成果(どのような	管理不全な有害空家等をなくし、定住促進やまちの賑わい創出に寄与する空家等の利活用が図られる

状態にするのか)

【コスト】							(単位:千円)
	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33, 271	41, 246	53, 316	54, 274	54, 274	54, 274	54, 274
事業費	9, 257	7, 616	17, 688	18, 646	18, 646	18, 646	18, 646
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1, 000	1, 400	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	543	12	5, 006	5, 006	5, 006	5, 006	5, 006
一般財源	7, 714	6, 204	11, 682	12, 640	12, 640	12, 640	12, 640
人件費計	24, 014	33, 630	35, 628	35, 628	35, 628	35, 628	35, 628
事務・技術(人)	2. 06	3. 25	3. 46	3. 46	3. 46	3. 46	3. 46
技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0. 90	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0. 80
会計年度任用(人)	0. 88	0. 91	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0188

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1810 都市計画部住宅政策課 事務事業番号 02654 空家等対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-05-15-06-00-16-00	空家等対策事業費	都市計画部住宅政策課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)空き家等パトロ		72. 00	72. 00	72. 00	72. 00	72. 00	72. 00	72. 00
ール・現場調査の回数	回	77. 00	76. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)管理不全な有害	0/	80.00	80. 00	80.00	80.00	80.00	80.00	80. 00
空家等の指導方針確定 率	%	77. 00	79. 94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	空家等の対策は全国的な問	問題で	あり、必要な事業である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$oldsymbol{\wedge}$
			D	上がっていない	, ,
	評価理由	管理不全な空家の改善やり	<b>ノフォ</b> ・	ーム補助事業の利用が増加。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	リフォーム補助事業の利用	用増加の	の一方、管理不全な空家の増加。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$oldsymbol{\wedge}$
			D	貢献していない	, ,
	評価理由	住環境の向上や活性化に動	と げる	こととなり、貢献度は高い。	
ĺ	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
拡大
管理不全な空家の対応については、市民等の通報から所有者等に通知を送る期間を短縮できるよう事務処理を進めているが、戸籍法等の改正を踏まえて相続調査や所有者調査に精力的に取り組んだ結果、管理不全な有害空家等の指導方針確定率については前年度の数値を上回ることができた。また、令和6年度から子育て世代に対して定住促進リフォーム補助事業の拡充を行った結果、21件の補助・52人の転入があり、空家の利活用と移住・定住を促進することができた。相続人不存在の空家については、財産管理制度を活用した申立てを1件行い、早期解決に努めた。令和7年度からは改正空家特措法に基づき策定した基準により管理不全空家等の判断を進め、管理不全な空家の早期解決につながるよう更なる取り組みを進める。

【部局評価結果】

総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

拡大

大津市空家等対策計画に基づき、老朽化した空家等の適正管理の推進に向け、所有者等に対して適正管理を促
すとともに、空家特措法の改正により創設された管理不全空家に対する指導や財産管理制度の活用により、引き
続き、管理不全な空家の解決に向けた取り組みを進める。

また、空家の利活用・流通の促進については、子育て世代を対象に拡充した定住促進リフォーム補助事業を継
続して取り組むとともに、政策調整部が実施する対策事業とも連携していく。
なお、大津市空家等対策計画については、令和7年度から2ヶ年度で策定する大津市住生活基本計画に統合することから、空家の実態調査の結果を踏まえたうえで、適正管理や利活用について有効な方策の検討を進める。

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1810
 都市計画部住宅政策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 02654	空家等	対策事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度 72.00	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度 70000	令和10年度	令和11年度
(活動)空き家等パトロ ール・現場調査の回数	回	72. 00 77. 00	72.00 76.00	72. 00 0. 00	72. 00 0. 00	72. 00 0. 00	72. 00 0. 00	72. 00 0. 00
70 犯物關重切出級	指標説明		・通報のあった空	三き家等の現地確	認及び継続指導物	か件のフォローア	マップ等のパトロー	-ルの回数
(成果)管理不全な有害	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80. 00	80. 00
工多寺の旧寺刀川 唯化	指標説明	77.00 苦情・通報等がる	79.94 あった空き家等の		0.00 対する指導方針が	0.00 が確定した物件の		0.00
		211.7				, merc o re 1,311 s		
ļ								
ļ								
							l l	
					<u> </u>			
							<u> </u>	
ļ								
ļ								
ļ								
							г т	
				-	-			
					<u> </u>			
							I	
					T			
							I	
10070050								

整理番号 0189

評価年度 令和 6年度

00212

進捗区分 評価完了 都市計画部建築指導課

耐震改修促進事業

所属長名 髙木 裕司 記入者 瀬戸口 留美子

事務事業番号 【基本情報】

【基本情報】							
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします						
施策	021 災害に強いまちづ						
取組の方向性	001 災害に対するまちの安全性の確保						
事務事業	001 耐震改修促進事業	<u> </u>					
			I				
運営方法	その他		1		T.		
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
In the class of the							
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に   (事業概要)	関する法律、既仔	<b>氏间</b> 建梁物 們	断補助金父付要綱	<del>-</del>		
事業概要	撤去等の一部を補助する事	業を実施し、災害 の耐震化の重要性	時の倒壊による被 を周知啓発するこ	で害の防止を図ってい とにより、市民の[0	防災に対する意識の向上を促す		
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	ている。耐震診断の義務付 (見直しや改善等の経過) 更なる耐震化促進のため令	け等法の整備も後 和2年度から木造	押しとなり民間建住宅耐震補強案作	築物の耐震化が促進 成事業を、令和3年	に対する意識が全国的に高まっ 佳されている。 年度から木造住宅耐震改修等事 開始し、耐震化支援のための制		
【事業分析】							
対象(何又は誰を)	昭和56年以前に建てられ	た民間建築物にお	いて				
日的(何のために)	足問建築物の耐雲性の向上	<del></del>					

目的(何のために) 民間建築物の耐震性の向上を図るために

手段(どのようなやり方で) 建築物の所有者等が行う耐震診断や木造住宅耐震改修工事及び避難路沿道のブロック塀撤去等の費用の一部補助 、木造住宅耐震診断のための耐震診断員派遣、さらに各種制度の紹介資料作成やDM送付等による周知啓発活動

により

成果(どのような 状態にするのか) 市民の防災に対する意識の向上を促すとともに、建築物の安全性を向上させ、災害に強いまちをつくる

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	13, 743	21, 960	31, 700	35, 419	35, 419	35, 419	35, 419
事	業費	6, 099	11, 420	18, 274	21, 993	21, 993	21, 993	21, 993
	国庫支出金	2, 914	5, 553	8, 940	10, 671	10, 671	10, 671	10, 671
	県支出金	1, 534	1, 703	2, 541	5, 609	5, 609	5, 609	5, 609
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 651	4, 164	6, 793	5, 713	5, 713	5, 713	5, 713
人	、件費計	7, 644	10, 540	13, 426	13, 426	13, 426	13, 426	13, 426
	事務・技術(人)	0. 98	1. 30	1. 67	1. 67	1. 67	1. 67	1. 67
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0189

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1309 都市計画部建築指導課 事務事業番号 00212 耐震改修促進事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
ſ	01-40-05-15-06-00-06-00	耐震改修促進事業費	都市計画部建築指導課
ſ			
ſ	<u> </u>		

【定量評価】	-				-		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)住宅の診断実施 者への啓発通知件数	件	1, 000. 00	1, 000. 00	900.00	730. 00	730. 00	730. 00	730. 00
4、の合光通和件数	117	1, 073. 00	1, 050. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)住宅への戸別訪 問による啓発活動件数	件	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00
同による合先活動件数	11+	5. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)耐震補強案作成 件数	件	15. 00	20. 00	40.00	30.00	30.00	30.00	30.00
计数	117	19. 00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)住宅の耐震改修	件	10. 00	12. 00	8. 00	16.00	16.00	16.00	16. 00
実施件数(木造)	1 <del>1+</del>	1.00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

[	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	•
	評価理由	地震対策及び市民の耐震化	とに対す	する意識の向上に必要	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	耐震診断申請件数や補助事	事業の[	問合せが増加している	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業の充実及び継続実施に	こより、	. 耐震化に寄与することができる	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\mathbf{A}$
			D	貢献していない	<i>,</i> ,
	評価理由	耐震化の支援により、市民	その生命	命を守ることに繋がる重要な事業	
1					
1					
1					
	評価理由				

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	今年度終期を迎える大津市既存建築物耐震	改修促進計画における目標達	成に向けて、更に周知啓発活動を強化す
	る。また、本計画における耐震化率の目標		
	時点の耐震化率は、住宅が93%、特定建築	物が約92%であり、目標の達	成は困難な見込みであることから、令和
部局コメント	7年度に予定している計画の改定においては	<b>は、目標の達成に向け、耐震(</b> (	と促進への取組を強化していく。
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1309
 都市計画部建築指導課

 総合計画
 03
 土津市総合計画
 第2期実行計画

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号	00212	耐震改	෭修促進事業				上段:目標値	下段:実績値
1617 5		W / I	A	^ - ^ -	^ - L	^- ^-	 A	A

指標名 活動) 住宅の診断実施 ちへの啓発通知件数	<u>単位</u> 件	令和 5年度 1,000.00	<u>令和 6年度</u> 1,000.00	<u>令和 7年度</u> 900.00	<u>令和 8年度</u> 730.00	<u>令和 9年度</u> 730.00	<u>令和10年度</u> 730.00	<u> </u>
<b>皆への啓発通知件数</b>		4 070 00						700.00
		1,073.00	1,050.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	不逗住モの刪展			啓発文書を通知し			
活動)住宅への戸別訪 引による啓発活動件数	件	5. 00 5. 00	5. 00 0. 00	5. 00 0. 00	5. 00 0. 00	5. 00 0. 00	5. 00 0. 00	5. 00 0. 00
別による合元石割け数	指標説明					0.00	0.00	0.00
成果)耐震補強案作成		15.00	20.00	40.00	30. 00	30. 00	30.00	30.00
牛数	件	19.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	木造住宅耐震補	強案作成事業を実	『施した件数				
成果)住宅の耐震改修	件	10.00	12.00	8. 00	16.00	16. 00	16.00	16. 00
<b>実施件数(木造)</b>	件 指標説明	1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	拍標說明	耐震診断後に耐	震改修を実施した	任宅の剱				
			-					
							•	
					-	-		
							I.	
			-			1		
	1		, ,		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		<del>,</del>	
							•	
		+						
			•		•	-		
							I	
	1				1	1	Г	
P27P050	<u> </u>	1		ГС7				

整理番号 0190

評価年度 令和 6年度

00935

進捗区分 建設部建設監理課 所属 1811

評価完了 所属長名 中川 博嗣 記入者 江川 英義 放置自転車対策事業

事務事業番号 【基本情報】

【基本用報】						
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住	み続けることのでき	うる活力のあるま	ちを創ります		
基本政策	010 コンパクトで質	の高い持続可能なま	きちにします			
施策	026 交通ネットワー	クの充実				
取組の方向性	001 地域公共交通ネ	ットワークの維持・	確保			
事務事業	011 放置自転車対策	事業				
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	自転車法、及び大津市自軸	द車等の放置防止に	関する条例			
事業概要	(事業概要) 「大津市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき設定した自転車等の放置禁止区域における『啓発・撤去・返還』業務を民間委託し、駅周辺の放置自転車等をなくし良好な環境及び美観を保持する。大津市道上等の啓発・撤去については、直営及び民間委託で行っている。  放置禁止区域・・・小野駅周辺・堅田駅周辺・おごと温泉駅周辺・比叡山坂本駅周辺・唐崎駅周辺・大津京駅周辺・大津駅周辺・活車駅周辺・石山駅周辺・瀬田駅周辺・びわ湖浜大津駅周辺					
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境 これまでの取組の結果、抗 (見直しや改善等の経過) 放置禁止区域における放置	, 対置自転車の台数は		•	効率化に努めている。	

【事業分析】

【争未分例】	
対象(何又は誰を)	自転車及び原動機付自転車の所有者または利用者
目的(何のために)	駅前広場や大津市道上における自転車・原動機付自転車の放置の防止のために
手段(どのようなやり方で)	放置防止の『啓発活動』及び、禁止区域や大津市道上の放置自転車等の撤去を行い
成果(どのような 状態にするのか)	歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観を保持する。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トーク	タルコスト	14, 110	14, 806	16, 064	16, 604	16, 604	16, 604	16, 604
事	業費	8, 408	8, 476	9, 734	10, 274	10, 274	10, 274	10, 274
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	231	221	218	218	218	218	218
	一般財源	8, 177	8, 255	9, 516	10, 056	10, 056	10, 056	10, 056
人	.件費計	5, 702	6, 330	6, 330	6, 330	6, 330	6, 330	6, 330
	事務・技術(人)	0. 37	0. 35	0. 35	0. 35	0. 35	0. 35	0. 35
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 88	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0190

評価年度 令和 6年度

6年度 進捗区分 評価完了

 所属
 1811
 建設部建設監理課

 事務事業番号
 00935
 放置自転車対策事業

【関連予算情報】

【闭连了异阴拟】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	建設部建設監理課
【定量評価】		上段:目標値 下段:実績値

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)啓発台数	台	500.00	500. 00	500. 00	500.00	500.00	500.00	500.00
		381.00	443. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)撤去台数(違法駐車台数)	4	400.00	400. 00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
新 <b>年</b> 百数/	台	417. 00	373. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目	評価の観点	基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	A 妥当である	計順
女当住			
1	当か	B ほぼ妥当である	A
1		C あまり妥当ではない	
== /= == -	######################################	D 妥当ではない	
評価理由		置自転車は市でしか撤去できないため	
有効性	事業分析の「成果」欄	A 上がっている	
	に記載の成果は上がっ	B やや上がっている	
2	ているか	C あまり上がっていない	A
		D 上がっていない	
評価理由	啓発・撤去活動が周知され	放置自体が抑止されている	
効率性	事業手法は効率的であ	A 効率的である	_
	るか	B やや効率的である	
3		C あまり効率的でない	A
		D 効率的でない	
評価理由	南北にエリアを区切り少な	ハ巡回で全域の放置自転車台数が減少	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	A 貢献している	_
	しているか	B やや貢献している	
4		C あまり貢献していない	A
		D 貢献していない	
評価理由	道路交通の円滑化に貢献し	ている	

【所属評価結果】	•		
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	これまでの継続的な取組の成果により放置な環境確保やその機能低下の防止はもとよる。 事業費の大半は一般財源であるが、当課正に見合った成果を上げられていることからきと考える。	り、歩行者等の交通安全の確 規職員及び会計年度任用職員	保や街並みの美観保持にも寄与できてい 並びに委託業者が効率的に連携し、経費

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	┃ ┃事業の効率化を図りつつ、重要拠点への対	<u> </u>  応が行われており、撤去台数	 が減少していることは評価できる。今後
	も放置自転車への警告、撤去台数等の状況 て取り組んでいく。	に鑑み、より効果的な対策を	講じるなど、本事業の計画的推進に向け
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1811 建設部建設監理課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 放置自転車対策事業 00935 上段·日標值 下段·軍績値

事務事業番号 00935	放置自	自転車対策事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動) 啓発台数	単位	<u>令和 5年度</u> 500.00	<u>令和 6年度</u> 500.00	令和 7年度 500.00	<u>令和 8年度</u> 500.00	<u>令和 9年度</u> 500.00	<u>令和10年度</u> 500.00 0.00	<u>令和11年度</u> 500.00 0.00
	台	381.00	443.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
	指標説明	放置禁止区域内统	外における実啓発	後数(シール貼付	数)			
(成果)撤去台数(違法 駐車台数)	스	400.00	400.00	400.00	400.00	400. 00 0. 00	400. 00 0. 00	400.00
	口 指標説明	417.00 撤去台数(違反	373.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1日1示武功	撤去百数(建汉》	註甲百数/					
			1					
							l l	
			1		ı		ı	
							<u> </u>	
			I		1			
		<u> </u>	-		-		,	
							•	
			I		I			
							<u> </u>	
		<del>                                     </del>		1			Г	
					<u> </u>			
							<u> </u>	
				1	ı	1	Г	
IP27P050		1						

整理番号 0191

評価年度 令和 6年度

評価完了 進捗区分 建設部地域交通政策課 1801 所属 事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

所属長名 浜本 悟史 中村 泰彰 記入者

【其太情報】

【基本情報】							
総合計画		画 第2期実行計画					
基本方針		003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります					
基本政策		質の高い持続可能なる	まちにします				
施策	026 交通ネットワ-						
取組の方向性		ネットワークの維持・	確保				
事務事業	001 公共輸送対策技	推進事業					
<b>運営方法</b>	その他			-	•		
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
旧物计入生	地域公共交通の活性化及	があせい思する注律					
根拠法令等	(事業概要) 令和3年3月策定の大津 乗合タクシー等の新たな	津市地域公共交通計画 注移動手段の確保に向	iに基づき、既存の	· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	推持を図るとともに、デマンド型 映適で、安心して暮らせる地域公		
	(事業概要) 令和3年3月策定の大津	津市地域公共交通計画 注移動手段の確保に向	iに基づき、既存の	· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
低拠法で等 事業概要 事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業概要) 令和3年3月策定の大津 乗合タクシー等の新たな 共交通の実現を目指す。 (事業を取りまく社会環 地域公共交通は、利用者 路線バスでは減便や廃止 ことが重要な課題となっ (見直しや改善等の経過) 路線バスにおいては運行	津市地域公共交通計画 注移動手段の確保に向 対数の減少や自動車運 こをせざるを得ない厳 っている。 ) 行継続に向けた支援を	に基づき、既存のけた施策を推進し けた施策を推進し 転手の労働時間等 しい経営環境が経	の改善に向けた交 等の改善に向けた交 売いており、既存の 各線バスが廃止等さ			
事業概要	(事業概要) 令和3年3月策定の大津 乗合タクシー等の新たな 共交通の実現を目指す。 (事業を取りまく社会環 地域公共交通は、利用者 路線バスでは減便や廃止 ことが重要な課題となっ (見直しや改善等の経過) 路線バスにおいては運行 地域においては、地域任	津市地域公共交通計画 注移動手段の確保に向 対数の減少や自動車運 こをせざるを得ない厳 っている。 ) 行継続に向けた支援を	に基づき、既存のけた施策を推進し けた施策を推進し 転手の労働時間等 しい経営環境が経	の改善に向けた交 等の改善に向けた交 売いており、既存の 各線バスが廃止等さ	快適で、安心して暮らせる地域公 対応、運転手不足等により、特に D地域公共交通を維持・確保する され代替交通手段の確保が困難な		

目的(何のために)	既存の地域公共交通を維持・確保するために	
手段(どのようなやり方で)	大津市地域公共交通計画に掲げる各種事業を協働して実施することで	

成果(どのような 状態にするのか)

IP27P040

安全、快適で安心して暮らせる地域公共交通ネットワークが形成される

[ ]	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	87, 987	97, 828	118, 961	156, 600	156, 600	156, 600	156, 600
=	事業費	65, 639	74, 378	93, 249	130, 888	130, 888	130, 888	130, 888
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	6, 139	6, 139	6, 139	6, 139	6, 139	6, 139	6, 139
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1, 562	1, 743	1, 524	1, 524	1, 524	1, 524	1, 524
	一般財源	57, 938	66, 496	85, 586	123, 225	123, 225	123, 225	123, 225
7	人件費計	22, 348	23, 450	25, 712	25, 712	25, 712	25, 712	25, 712
	事務・技術(人)	2. 82	2. 95	3. 24	3. 24	3. 24	3. 24	3. 24
	技能労務 (人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11	0. 11
	嘱託(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
- 1	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0191

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1801 建設部地域交通政策課 事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	建設部地域交通政策課
_		

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)公共交通の維持		0.00	7. 00	7. 00	7. 00	7. 00	7. 00	7. 00
・確保に係る事業の実 施数	事業	0. 00	7. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)公共交通の維持	NI	4. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
・確保に係る事業の実 施数	事業	4. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果) 1日あたりの地		312, 865. 00	312, 865. 00	312, 865. 00	312, 865. 00	312, 865. 00	312, 865. 00	312, 865. 00
域公共交通全体の利用 者数	人/日	287, 807. 00	291, 592. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
							_	

【定性評価】		T ++ 1/4	
評価項目	評価の観点	基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	A 妥当である	
	当か	B ほぼ妥当である	<b>^</b>
1		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域住民、交通事業者	、行政が相互に連携し実施している	
有効性	事業分析の「成果」欄	A 上がっている	
	に記載の成果は上がっ	B やや上がっている	
2	ているか	C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	前年度と比較し徐々に	ではあるが成果は上がっている	
効率性	事業手法は効率的であ	A 効率的である	_
	るか	B やや効率的である	
3		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域住民、交通事業者	と連携し、効率的に事業が推進できている	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	A 貢献している	_
	しているか	B やや貢献している	
4		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	デマンド型乗合タクシ	 ーにより一定の移動手段が確保できている	
評価理由			

評価理由 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	令和3年3月に策定した地域公共交通計画		
	に向けた運行支援を行うとともに、デマン		
	・行政の三者が協働し、利用促進の取組な		
所属コメント	て、普通第二種運転免許及び中型第二種運	<b>転免許の取得支援補助を開始</b>	するなど、地域公共交通の維持・催保に
(400文字)	係る取組を実施した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画とおり事業を進めることが適当	事業の方向性	払入
部局コメント (400文字)	地域公共交通の利用者数は、少子高齢化のい状況にあり、交通事業者からは、深刻化背景に、経営環境の厳しさが一層増してい動手段を求める利用者ニーズとの乖離が大向けた取組の充実を図っていく。また、デっていることから、引き続き、効率的かつ	なする運転手不足や自動車運転いるとの声が寄せられており、 さきな課題となっていることかでンド型乗合タクシーについ	手の労働時間の改善に向けた対応などを 地域公共交通の現状とよりきめ細かな移 ら、今後も既存の地域公共交通の維持に ては、地域住民等の重要な移動手段とな

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1801
 建設部地域交通政策課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

事務事業番号 00897	公共輔	前送対策推進事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)公共交通の維持	単位	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	令和 8年度 7.00	<u>令和 9年度</u> 7.00	令和10年度 7.00	令和11年度 7.00
・確保に係る事業の実	事業	0.00	7. 00	0.00	0.00	0.00	7. 00 0. 00	0. 00
施数	指標説明	公共交通の維持	・確保に係る本書	5及び活性化協議	会が実施する事業	<b>美数</b>		
(活動)公共交通の維持	事業	4. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・確保に係る事業の実		4.00	0.00	0.00		0. 00	0. 00	0. 00
施数	指標説明	公共交通の維持						
(成果) 1 日あたりの地 域公共交通全体の利用	人/日	312, 865. 00 287, 807. 00	312, 865. 00 291, 592. 00	312, 865. 00 0. 00	312, 865. 00 0. 00	312, 865. 00 0. 00	312, 865. 00 0. 00	312, 865. 00
	指標説明	大津市内におけ		<u> </u>	<u> </u>			0. 00
				Г	ı	ı	T	
					·	Į.		
		<del>                                     </del>				I	ı	
				L	l l	L		
						Į.		
							T	
				I	1	T		
		ļ		Т	<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>		<del></del>	
		<del> </del>						
		ļ		T		г		
		<del> </del>						
		ļ		Г			<del></del>	
		ļ		Т	,			
		<u> </u>						
IDOZDOGO	<u> </u>							

整理番号 0192

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 建設部道路・河川管理課 1804 所属 事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

南 康浩 坪田 成正 所属長名 記入者

数会計画	【基本情報】							
基本政策     002     心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします       施策     005     障害者の福祉の充実       取組の方向性     003     障害者に配慮したパリアフリー化の推進       事務事業     002     交通パリアフリー推進事業       運営方法     方法       評価区分     対象     主な取組区分     対象外       根拠法令等     道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律       (事業概要)     大津市パリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅へ京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のパリアフリー化を行う。       事業概要     (事業を取りまく社会環境)       高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。(見直しや改善等の経過)       大津市パリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。       【事業分析】			03 大津市総合計画 第2期実行計画					
施策					E創ります			
取組の方向性	_ : :::::::	VVI 0		まちにします				
事務事業 002 交通パリアフリー推進事業 002 交通パリアフリー推進事業 002 交通パリアフリー推進事業 002 交通パリアフリー推進事業 002 交通パリアフリー推進事業 002 交通パリアフリー推進事業 002 交通が 002 対象外 002 対象外 003 対象 003 対象外 003 対象外 003 対象外 003 対象外 003 対象外 003 対象外 003 対象が 00				10.00				
運営方法 直営   「事業概要   「事業を取りまく社会環境   高齢者、障害者等の全での人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全での人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市パリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のパリアフリー化を行う。 事業を取りまく社会環境   高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全での人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市パリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。				)推進				
評価区分 対象 主な取組区分 対象外 根拠法令等 道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所 駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。 事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現 には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順 位等を見直してきた。	<b>事務事</b> 業	002 交通パリアフ	リー推進事業					
評価区分 対象 主な取組区分 対象外 根拠法令等 道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所 駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。 事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現 には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順 位等を見直してきた。								
評価区分 対象 主な取組区分 対象外 根拠法令等 道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。 事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。								
評価区分 対象 主な取組区分 対象外 担拠法令等 道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。 事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。								
評価区分 対象 主な取組区分 対象外 根拠法令等 道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所 駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。 事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現 には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順 位等を見直してきた。	運営方法	直営						
根拠法令等			主な取組区分	対象外				
(事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。  事業概要  (事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。(見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。								
大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅~京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。  「事業を取りまく社会環境」 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。(見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。	根拠法令等	道路法、高齢者、障害	者等の移動等の円滑化	の促進に関する法	·律			
高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。	事業概要	駅周辺の安全な交通環	境を確保すべく、歩道	の整備等のバリア	フリー化を行う。			
		高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順						
		    高齢者、障害者等が						

【	
対象(何又は誰を)	高齢者、障害者等が
目的(何のために)	自立した日常生活を送れるように
手段(どのようなやり方で)	歩道の段差の解消、勾配修正などの改修工事を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	誰もが利用しやすい歩道空間が確保される

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	30, 354	41, 149	19, 000	33, 200	33, 200	33, 200	0
事	業費	22, 234	32, 949	10, 800	25, 000	25, 000	25, 000	0
	国庫支出金	5, 772	11, 232	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	14, 763	5, 500	9, 200	22, 500	22, 500	22, 500	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 699	16, 217	1, 600	2, 500	2, 500	2, 500	0
人	、件費計	8, 120	8, 200	8, 200	8, 200	8, 200	8, 200	0
	事務・技術(人)	1. 00	1. 00	1.00	1. 00	1.00	1.00	0. 00
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用 (人)	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0192

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完 所属 1804 建設部道路・河川管理課 事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

【関連予算情報】

【判理了异阴報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-20-00	人にやさしい道づくり事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)整備箇所 133箇所	箇所	10. 00	10. 00	6. 00	6. 00	6. 00	5. 00	0. 00
133箇別	直 が	17. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)整備率	0/	72. 93	82. 71	87. 22	91. 73	96. 24	100.00	0. 00
	%	75. 19	77. 44	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 市道のバリアフリー化を図るため 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がっている に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С D 上がっていない 誰もが利用しやすい歩道空間が確保されるため 評価理由 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか やや効率的である В С あまり効率的でない D 効率的でない 評価理由 道路の維持修繕も行っており、迅速かつコスト削減も図られている 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない С D 貢献していない 評価理由 安全な交通環境の確保に寄与しているため 評価理由

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 拡大 誰もが安心して快適に移動できる「人にやさしいまち」の実現に向けて、事業を継続していく。 次期移動等円滑化促進方針で設定された移動等円滑化促進地区(7エリア)においても整備を進めていく。 所属コメント (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
			1-1:1
	大津バリアフリー基本構想等に基づき、引	き続き計画的な整備に取り組	んでいく。
如ヒっょ 、し			
部局コメント			
(400文字)			

評価年度令和 6年度進捗区分評価完了所属1804建設部道路・河川管理課総合計画03大津市総合計画第2期実行計画

松口引巴	03	人产中税百亩四 第2期关11亩四		
事務事業番号	00951	交通バリアフリー推進事業	上段:目標値	下段:実績値

事務事業番号 0095	51 交通/	「リアフリー推進	業	1 0 - 1 - 1		A = 0 = ±	上段:目標値	下段:実績信
指標名 (活動) 整備箇所	単位	<u> </u>	<u>令和 6年度</u> 10.00	令和 7年度 6.00	令和 8年度 6.00	<u>令和 9年度</u> 6.00	令和10年度 5.00 0.00	令和11年度 0.00 0.00
1336所	箇所	17.00	3.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
	指標説明	整備箇所数 1:	3 3 箇所					
成果)整備率	%	72. 93 75. 19	82. 71 77. 44	87. 22 0. 00	91. 73 0. 00	96. 24 0. 00	100.00 0.00	0.00
	指標説明	75.19 完工箇所数(累記	77.44	┃ 0.00 箇所数 133筐	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	1日1末の191	尤工固別数(系記	ロアノ 王仲罡 禰臣	国内数 1336	ולזו			
				L			<u> </u>	
		<u> </u>		1	1 1			
				<u> </u>	<u> </u>			
				<u>l</u>	<u>l</u>			
				T	1 1		T.	
					•		•	
				I	1 1			
					]			
				<u>I</u>	<u> </u>		l l	
				I	1 1	1		
		<del>                                     </del>		I	<del>                                     </del>		1	
					<u> </u>			
				<u> </u>	<u>ı                                      </u>			
							<del>  </del>	
				l	<u>ı                                      </u>		1	
		ļ .		1	, ,			
		1				<u>_</u>		
		+		I	<del>                                     </del>	1	<u> </u>	
					<u> </u>		<u> </u>	
		<del>                                     </del>		I	<del>                                     </del>		ı	
227P050		1						

整理番号 0193

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1804 建設部道路・河川管理課 所属 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

南 康浩 松田 克実 所属長名 記入者

【其太情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第	ちかまたいます				
#		#∠别夫1T計画				
基本方針	003 安心、快適に住み網	売けることのでき	る活力のあるまち	らを創ります		
基本政策	009 安心、安全に暮らる	すことのできるま	ちにします			
施策	022 防犯力の向上と生活	舌安全の推進				
取組の方向性	001 防犯活動の強化					
事務事業	003 道路照明灯LEDイ	匕推進事業				
運営方法	民間委託		1	•		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
- W-						
根拠法令等	道路法 道路構造令					
	(事業概要)		<i></i> × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			
	既存の市街灯・防犯灯の照明	帯具のLED化	を進める。			
事業概要						
	/ 東米ナ阪リナノ社会理会					
	(事業を取りまく社会環境)	1/- to = = = = 0	<b>叶</b> 刈 尭 塾 の 吉 土 リ	から士徒れる記案で	5 台 4 5 4 分 4 カート・マー・フ	
	市道等の夜間交通の安全確保 (見直しや改善等の経過)	に加え、甲氏の	防犯息譲の高まり	から甲街灯の設直多	を主が増加している。	
事業を取りまく社会		: 生水1 小1 へ	ニナ 学业灯で維	共竺畑 レブハスナイ	うち中心に 老打ルした昭明男	
事果を取りまく任芸 環境とこれまでの見直し	平成23年度11月以降、市街灯・防犯灯のうち、蛍光灯で維持管理しているものを中心に、老朽化した照明器					
<b>環境とこれまでの見直し</b>	具から順次LED照明器具に取り替えを進め、令和4年度で完了した。 令和5年度からは、水銀灯約3000基のLED化を順次進めている。					
	7 74 3 千皮かりは、小越りが	りょししをのし	こしして順久進め	(v.0°		
【事業分析】	1					
メデスカが1 対象(何又は誰を)	既存の市街灯・防犯灯(蛍光	化的24 00	○其 水銀灯約3	000其)を		

対象(何又は誰を)	既存の市街灯・防犯灯(蛍光灯約24,000基、水銀灯約3,000基)を
目的(何のために)	市街灯・防犯灯の省エネ、少メンテナンスによる環境負荷軽減のために
手段(どのようなやり方で)	省エネかつ長寿命なLED器具へ取り替えることで
成果(どのような 状態にするのか)	修繕費や消費電力を削減するとともに、夜間の交通環境が整備されている。

<u>【コス</u>ト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー:	タルコスト	65, 875	68, 656	68, 680	68, 680	68, 680	68, 680	68, 680
事	業費	57, 995	59, 976	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	52, 100	53, 900	54, 000	54, 000	54, 000	54, 000	54, 000
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5, 895	6, 076	6, 000	6, 000	6, 000	6, 000	6, 000
人	、件費計	7, 880	8, 680	8, 680	8, 680	8, 680	8, 680	8, 680
	事務・技術(人)	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	1. 00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0193

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1804 建設部道路・河川管理課 所属 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯LED化推進事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)LED器具取替件数	件	300. 00	600. 00	900.00	1, 200. 00	1, 500. 00	1, 800. 00	2, 100. 00
TT 致	IT	475. 00	851.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)LED器具取替	%	10.00	20. 00	30.00	40. 00	50.00	60.00	70. 00
件数目標達成率	%0	15. 83	28. 40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 市内全域のLED器具の規格統 を図るため 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている <u>やや上がっている</u> に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С D 上がっていない 評価理由 計画的にLED器具へ取替え、夜間の安全確保に貢献しているため 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか В やや効率的である С あまり効率的でない D 効率的でない 評価理由 不点灯修繕も同時に行えるため、 迅速かつコスト削減も図れている 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない С D 貢献していない 評価理由 夜間交通の安全確保や地域の防犯意識の高揚に寄与しているため 評価理由

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 拡大 事業開始当初、約24,000基の蛍光灯具を計画的にLED器具に更新することとし、令和4年度にすべて完 令和5年度以降は、現状の事業規模を維持しながら、約3, 000基の水銀灯具のLED化を順次進めている。 所属コメント 令和6年度は、道路附属物点検にて器具不良の判定を受けたものや、優先路線から計画的に交換を実施した。 (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価		事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	引き続き、水銀灯のLED化に取り組むと めていく。	ともに、最新機器の情報を収	集し、更なる省電力化、照度の向上に努

令和 6年度 評価年度 進捗区分 1804 建設部道路・河川管理課 所属 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業 上段:目標値 下段:実績値 
 令和 5年度
 令和 6年度

 300.00
 600.00

 475.00
 851.00
 <u>令和 7年度</u> 900.00 0.00 令和 8年度 1,200.00 令和 9年度 1,500.00 0.00 令和10年度 1,800.00 <u>令和11年度</u> 2, 100.00 指標名 (活動) L E D 器具取替 単位 件 件数 0.00 0.00 0.00 指標説明 LED器具取替件数 50. 00 0. 00 (成果)LED器具取替 10.00 20.00 30.00 40.00 60.00 70.00 % 件数目標達成率 15.83 28.40 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 目標値/実績値

整理番号 0194

令和 6年度 評価年度

02369

評価完了 進捗区分 1814 建設部建築課 所属

公共施設適正管理推進事業

所属長名 岡田 大斉 記入者 前田 敏秀

事務事業番号 【基本情報】

対象(何又は誰を)

状態にするのか)

総合計画 第2期実行計画 第2期実行計画 第2期実行計画 第2期実行計画 基本方針 1003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります 基本政策 013 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます 施策 034 公共施設マラメントの推進 取組の方向性 901 公共施設等の適正化 事務事業 1002 公共施設衛正管理推進事業 1002 公共施設衛正管理推進事業 1002 公共施設衛正管理推進事業 1002 公共施設衛正管理推進事業 1002 公共施設適正管理推進事業 1002 公共施設適正管理推進事業 1003 大連設備工管理推進事業 1003 大連協議を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う 103	【	1								
基本政策     013 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます       施策     034 公共施設マの道正化       事務事業     002 公共施設適正管理推進事業       運営方法     直営       評価区分     対象       根拠法令等     建築基準法       高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。       事業概要     (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。	総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
施策	基本方針	***************************************	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
取組の方向性 事務事業	基本政策	013 徹底した行財政	:改革を進め、確かな	な都市経営を進める	ます					
事務事業	施策	034 公共施設マネジ	メントの推進							
運営方法  評価区分 対象  ・ 主な取組区分 対象  ・ 根拠法令等  ・ 建築基準法  ・ 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。 施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。 ・ 事業概要  ・ (事業を取りまく社会環境) ・ 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。 ・ 今後多くの施設が老朽していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) ・ 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。	取組の方向性	001 公共施設等の適	正化							
評価区分 対象 主な取組区分 対象 建築基準法 建築基準法 意度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。	事務事業	002 公共施設適正管	理推進事業							
評価区分 対象 主な取組区分 対象 建築基準法 建築基準法 意度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。										
評価区分 対象 主な取組区分 対象 建築基準法 建築基準法 意度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。										
評価区分 対象 主な取組区分 対象 建築基準法 建築基準法 意度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。										
評価区分 対象 主な取組区分 対象 建築基準法 建築基準法 意度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業概要 (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。										
根拠法令等  建築基準法 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業概要  (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。						·				
高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。 施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。 今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。	評価区分	対象	主な取組区分	対象						
高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応するため、多くの公共施設を整備・保有している。 施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。 今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。										
施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況を把握し、施設所管課へ技術的支援を行う。  (事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。	根拠法令等	建築基準法								
高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。 今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 環境とこれまでの見直し 平成25年度から情報端末を活用し、改善の優先順位を整理しており、平成30年度からは法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行っている。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。	事業概要	0		施設点検による劣	6化状況を把握し、カ	<b>を設所管課へ技術的支援を行う</b>				
【事業分析】		高度経済成長と人口増加 今後多くの施設が老朽化 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端	を背景とした行政需 していくため、長寿 末を活用し、改善の	命化を進めること 優先順位を整理し	が必要である。 、ており、平成30 <sup>9</sup>	F度からは法令不適合箇所の改				
	【事業分析】			•	•					

目的(何のために)	市有施設を適正かつ安全に維持保全し、市民に安心して施設を利用していただくために
手段(どのようなやり方で)	施設情報を集約した施設台帳(電子カルテ)を活用し、建築物、建築設備及び防火設備の定期点検を実施すると ともに、施設管理者等に施設保全管理に係る情報の提供を行うことで

|建築基準法で規定された200mを超える特定建築物及び防火設備を有する施設について

施設の安全性、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減につなげる 成果(どのような

(単位:千円) 【コスト】

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	40, 954	21, 468	0	0	0	0	0
事	業費	2, 632	1, 356	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 632	1, 356	0	0	0	0	0
人	、件費計	38, 322	20, 112	0	0	0	0	0
	事務・技術(人)	3. 83	1. 04	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	2. 64	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0194

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 1814 建設部建築課

事務事業番号 02369 公共施設適正管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-60-00-10-00	公共施設適正管理推進事業費	建設部建築課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)市有施設の定期 点検の実施	点検施設数	285. 00	284. 00	285. 00	285. 00	285. 00	285. 00	285. 00
<b>点快の</b> 夫池	<b>杰快旭</b> 政致	284. 00	284. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)防火設備点検の 実施	点検施設数	117. 00	117. 00	117. 00	117. 00	117. 00	117. 00	117. 00
大心	点快旭议致	116.00	116. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果の 蓄積及び通知	実施率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
黄恨及ひ週和	天心平(70)	100.00	100.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			Δ	妥当ではない	
	評価理由	法定点検として公共施設の	り適正句	管理に施設情報を蓄積活用	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{H}$
			Δ	上がっていない	
	評価理由	点検情報の蓄積により施設	殳状態(	の変化や修繕優先度を随時把握	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
			D	効率的でない	
	評価理由	不良部位の情報、指摘箇所	斤を情報	報端末により可視化し効果的に運用	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	点検結果を踏まえた技術す	を援に。	より施設の効率的な適正管理を推進	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
今後の公共施設のあり方については、既存施設の長寿命化に取り組む必要がある。
令和7年度から本事業が公共施設定期点検事業に統合されるため、引き続き、施設情報を蓄積し、適正管理の推進を通して施設の長寿命化に取り組んでいく。
また、令和6年度からの公共施設包括管理業務導入を通じて、施設の点検においてさらに効率化を推進していく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	施設点検による現状把握を継続的に実施す を積極的に支援していく。 公共施設包括管理業務で得られた知見を職		

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1814 建設部建築課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 公共施設適正管理推進事業 02369 上段:目標値 下段:実績値 <u>令和 5年度</u> 285.00 
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度

 285.00
 285.00
 285.00
 令和10年度 285.00 令和11年度 285.00 指標名 (活動)市有施設の定期 令和 6年度 284.00 単位 点検施設数 284. 00 284.00 0.00 0.00 0.00 0 00 0.00 点検の実施 指標説明 建築物及び建築設備の定期点検実施の施設数(令和7年度以降の予公共施設定期点検事業(評価対象外)へ統合 (活動)防火設備点検の 117.00 117.00 117. 00 117. 00 117. 00 117.00 117.00 点検施設数 実施 116.00 116.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 防火設備の点検実施の施設数(令和7年度以降の予算が公共施設定期点検事業(評価対象外)へ統合) 指標説明 (成果)施設点検結果の 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 実施率(%) 100.00 0.00 0.00 0.00 蓄積及び通知 100.00 0.00 0 00 指標説明 |施設点検結果をシステムデータに蓄積すると同時に施設所管課に通知(令和7年度以降の予算が公共施設定期点 検事業 (評価対象外) へ統合)

整理番号 0195

令和 6年度 評価年度

所属長名 岡田 大斉 進捗区分 評価完了 記入者 1814 建設部建築課 前田 敏秀 所属

事務事業番号 04239 公共施設包括管理事業

【基本情報】

【本个用報】									
総合計画	03 大津市総合計	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	013 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます								
施策	034 公共施設マネ	034 公共施設マネジメントの推進							
取組の方向性	001 公共施設等の	001 公共施設等の適正化							
事務事業	021 公共施設包括	021 公共施設包括管理事業							
運営方法	民間委託								
評価区分	対象	主な取組区分							
根拠法令等		<ul><li>・保育園、小中学校の維持管理業</li></ul>							
事業概要		各種保守点検、清掃、樹木管理、							
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	し、施設の管理水準も	務については、これまで施設所管 均一でなかったことから、令和 6 国の自治体でも導入が進む包括的	年11月より、事務の効率						
【事業分析】	<u> </u>								
対象(何又は誰を)	市有の公共施設(市民・	センター、幼稚園・保育園、小中	学校) の維持管理業務						
	ĺ								

目的(何のために) 事務の効率化、情報の一元化、管理水準の均質化を目的に

手段(どのようなやり方で) 各種保守点検業務、修繕等を一括化して包括的に民間委託することで

成果(どのような 状態にするのか) 職員の事務負担を軽減するとともに、施設の不具合修繕がより迅速、計画的に行え、施設の安全性確保、利便性 が向上し、市民が安全、安心に施設サービスを受けられるようになる。

【コスト】 (単位:千円)

			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
<b> -</b>	-タ	ルコスト	0	204, 574	765, 354	807, 713	807, 713	807, 713	807, 713
	事	業費	0	182, 734	728, 984	770, 903	770, 903	770, 903	770, 903
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	3, 265	0	0	0	0
		一般財源	0	182, 734	725, 719	770, 903	770, 903	770, 903	770, 903
	人作	牛費計	0	21, 840	36, 370	36, 810	36, 810	36, 810	36, 810
		事務・技術(人)	0.00	2. 80	3. 95	3. 95	3. 95	3. 95	3. 95
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	0.00	0.00	1. 39	1. 50	1. 50	1.50	1. 50
		嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

下段:実績値

100.00

100.00

0.00

0.00

令和11年度

上段:目標値

100.00

0.00

0.00

100.00

令和10年度

# 事務事業評価シート(2/2)

評価完了

令和 6年度

100.00

95.90

100.00

87.50

令和 5年度

0.00

0.00

0.00

0.00

整理番号 0195

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 1814 建設部建築課

事務事業番号 04239 公共施設包括管理事業

%

%

単位

【関連予算情報】

【定量評価】

況の満足度

指標名

(活動)修繕予算執行

(成果) 施設・設備状

I	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
I	01-10-05-03-60-00-20-00	公共施設包括管理事業費	建設部建築課
ĺ			
ĺ			

令和 7年度

100.00

100.00

0.00

0.00

令和 8年度

100.00

100.00

0.00

0.00

令和 9年度

100.00

100.00

0.00

0.00

(成果)修繕対応の満 □度 %	0.00	0 100	.00 100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
足度	90	0. 00	74.	. 10 0. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00
【定性評価】								
<u>上上計画》</u> 評価項目		評価の観点			 基準			評価
妥当性		実施主体又は手段に		妥当である				
		当か		ほぼ妥当である				Λ
1			С	あまり妥当ではなし	1			$\boldsymbol{A}$
				妥当ではない				<i>,</i> ,
評価理由		包括的委託による	民間事業者の創	『意工夫、ノウハウ》	舌用が図れる			
有効性		事業分析の「成果.		上がっている				
に記載の成果は上がっ			やや上がっている					
2		ているか		あまり上がっていない				
			D	2,000				
評価理由				5 業務を実施できてし	ハる			
効率性		事業手法は効率的		効率的である				•
るか			В	やや効率的である				Λ
3				あまり効率的でなし				
≕/ <b>年</b> 1用 由				効率的でない	== 7			
評価理由				Eによる一括管理が行	すえる			
施策への貢献度		施策目標の達成に しているか		貢献している やや貢献している				^
<u> </u>		しているか	C	あまり貢献している	21.			$\Delta$
7				貢献していない	, u ·			
評価理由		事務の効率化、施		貝献していない   特保全に繋がっている	 გ			
No. 1 least and least		7 227 727 1 100 1001	25 - 1 × 25 0-4/E1	, pr 1 - New 2 C C				
		ĺ	H					

【部局評価結果】

評価理由 【所属評価結果】

E PICAS DI I I I I I I I I I I I I I I I I I I								
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持					
	各種点検結果や修繕履歴等の情報を集約することにより、施設所管課、施設管理者、営繕担当部門が連携して計							
	画的、均質的な修繕に取り組み、施設の長	画的、均質的な修繕に取り組み、施設の長寿命化を推進していく。						
	公共施設包括管理業務で得られた知見を職員の技術力向上に生かしていく。							
部局コメント								
(400文字)								

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1814 建設部建築課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 04239 公共施設包括管理事業 上段:目標値 下段:実績値

<b>学</b>	単位 % 指標説明	令和 5年度 0.00 0.00	<u>令和 6年度</u> 100.00 95.90	令和 7年度 100.00 0.00	令和 8年度 100.00	令和 9年度 100.00	令和10年度 100.00	令和11年度 100.00
本		0.00	95. 90	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00
(成果)施設・設備状	指標説明	收贷文件 (业款)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設・設備状 況の満足度		修槽丁昇(ヨ談-	年度の最終予算額	頃)の執行率				
況の満足度	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	0.00 施設管理担当職	87.50 号へのマンケー 1	0.00	(借の仕事しにも)	0.00 +スら段階評価で	0.00	0.00
	1日1ホロル ピフ							
(成果)修繕対応の満 足度	%	0. 00 0. 00	100. 00 74. 10	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
<i>~</i>	指標説明	施設管理担当職	うれて 員へのアンケー l	ト調査「修繕依頼	への対応」におり	ナる5段階評価で	の3以上の割合	0.00
							<u> </u>	
				I	Γ		Т	
							ļ. J.	
				I	<u> </u>		<u> </u>	
							l l	
_				ı	Γ			
							l l	
				1	Γ			
							L	
_				ı	Γ			
				1	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
		<del> </del>					<u> </u>	
		1		<u>I</u>	<u> </u>		<u> </u>	
		<del> </del>					<u> </u>	
				<u> </u>		<u> </u>		
		ļ		ī	<u> </u>			
IP27P050		1		E0E				